

# 徳島経済レポート

No.456 2022. 6. 27

公益財団法人 徳島経済研究所

## 最近の県内景況

### 景気は持ち直し傾向が続くも、 消費者物価の上昇に注視が必要

#### 概況

景況は、行動規制の緩和により、個人消費を中心に持ち直しの動きが維持されている。一方で、原材料・エネルギー価格等の高騰に伴う物価上昇がみられ、消費意欲の低下による景気下押しリスクに十分注意する必要がある。

鉱工業生産(3月)をみると、季節調整済指数は96.0で前月に比べ6.5%低下、前年比(原指数)は3.2%低下した。季節調整済指数は、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、窯業・土石製品、電気機械などで前月を下回った一方、金属製品、家具、鉱業、鉄鋼、化学などが前月を上回った。

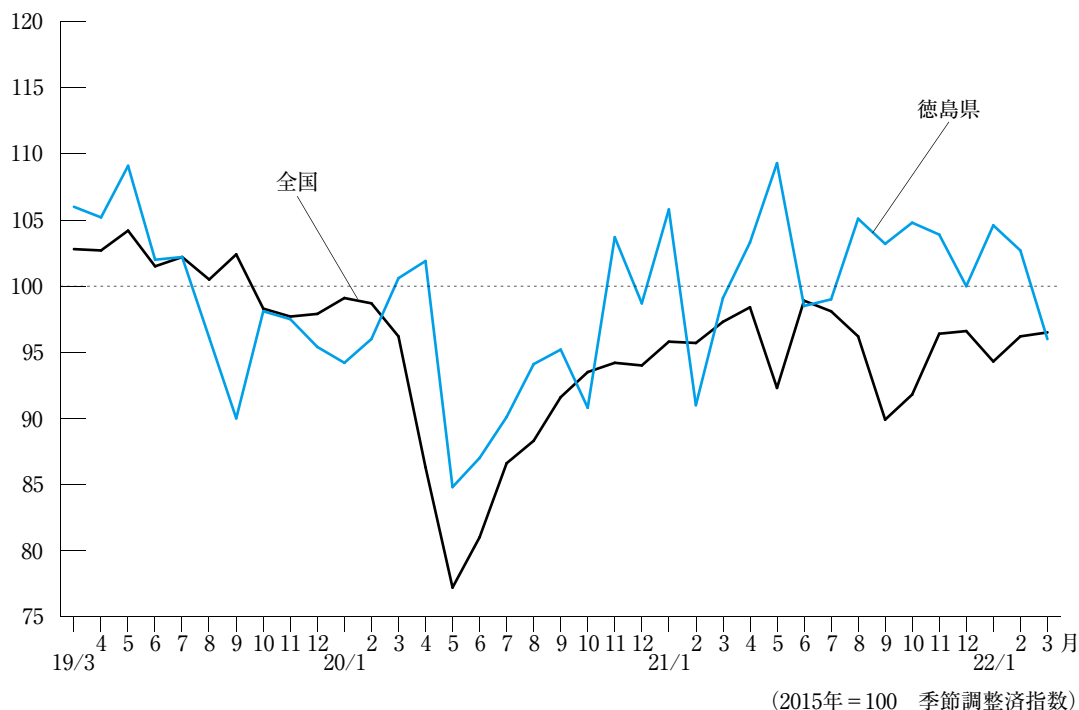
大型小売店・専門量販店販売額(5月)は、大型店を中心に売上げ、入店客数とも前年を大幅に上回り、持ち直し傾向が続いている。旅行(5月)をみると国内旅行は新規感染者数の増加が抑えられていることから、ゴールデンウィーク期間中をはじめとする旅行を手配する動きがみられ、取扱高は前年を上回って推移した。海外旅行は各国における入国制限の撤廃などから、業務による渡航相談などがみられたものの予約はほとんどなく、国内・海外旅行を合わせた個人旅行全体の取扱高は例年を下回る状況が続いた。自動車販売(5月)は、登録車、軽自動車とも減少し、登録台数(含む軽)は1,318台で前年比15.4%減となった。

新設住宅着工戸数(4月)は、持家が前年比3.4%増、貸家が同11.5%増、分譲が同36.4%増となり、総戸数は同8.1%増の241戸となった。公共工事請負金額(5月)は、「市町村」が前年比54.2%減、「国」が同25.0%減、「県」が同18.0%減、「独立行政法人等」が同13.9%減となった。全体では同28.4%減の83億95百万円となった。

雇用関連指標をみると、有効求人倍率(4月、季節調整済)は、前月比0.03%低下で1.25倍となった。なお、雇用保険受給者実人員数(4月)は前年比22.5%減少で、10か月連続の減少となった。

企業倒産(5月)は、件数3件、負債総額は10億78百万円だった。

### 鉱工業生産指数（徳島県、全国）



#### 徳島県（3月）

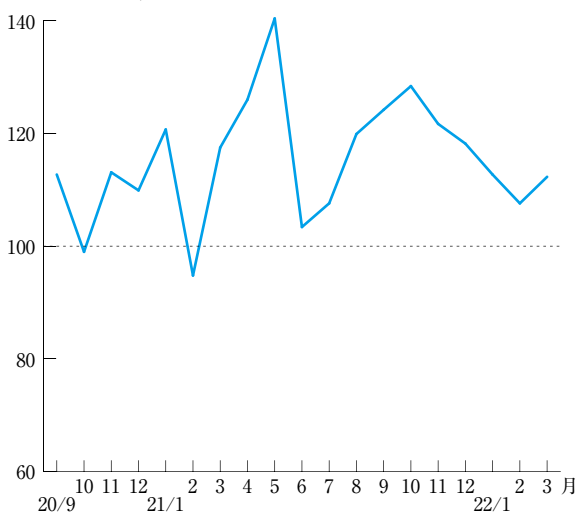
徳島県の3月（速報値）の鉱工業生産指数は、96.0（季節調整済）で前月比6.5%低下、原指数は104.2で前年比3.2%低下となった。

季節調整済指数の内訳をみると、前月比で上昇したのは全15業種のうち6業種で、金属製品工業（142.4%増）、家具工業（7.8%増）、鉱業（5.2%増）、鉄鋼業（4.7%増）、化学工業（4.4%増）など。一方、低下した業種は、はん用・生産用・業務用機械工業（56.3%減）、輸送機械工業（17.4%減）、窯業・土石製品工業（9.9%減）、電気機械工業（5.1%減）など。

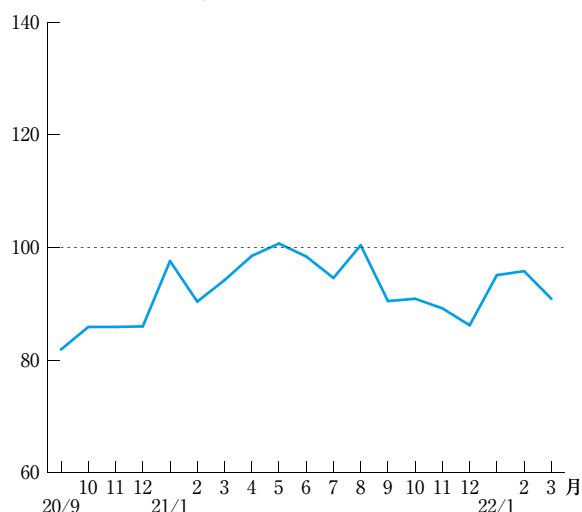
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち7業種で、金属製品工業（24.7%増）、家具工業（18.4%増）、食料品・飲料・飼料工業（14.2%増）、木材・木製品工業（7.2%増）など。一方、低下した業種は、はん用・生産用・業務用機械工業（27.0%減）、窯業・土石製品工業（14.7%減）、プラスチック製品工業（11.1%減）、繊維工業（4.5%減）など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を 10,000 としたウエイト) (2015 年 =100 季節調整済指数)

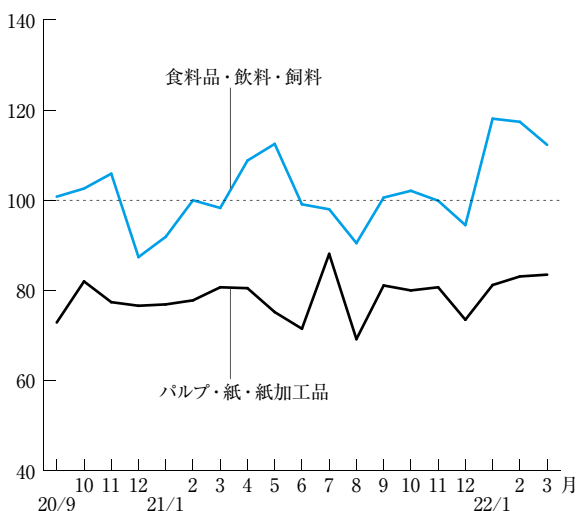
化学 (3,681.0)



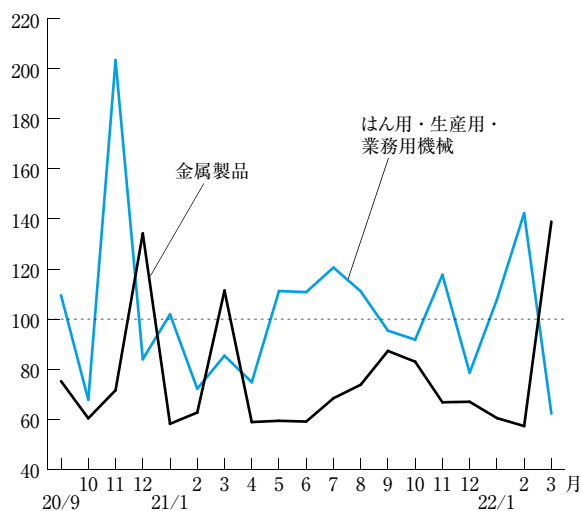
電気機械 (2,888.8)



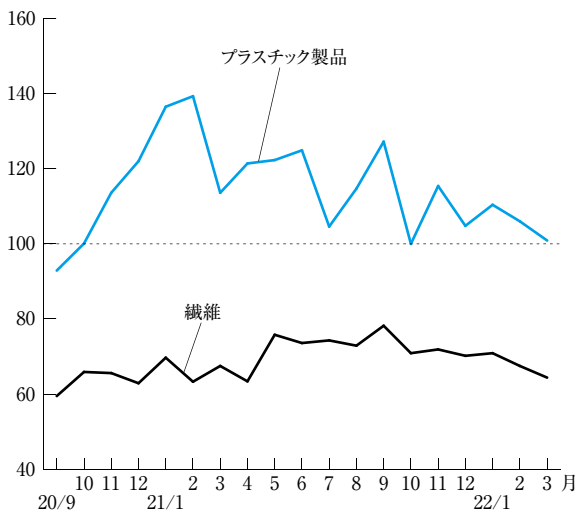
食料品・飲料・飼料 (703.4)  
パルプ・紙・紙加工品 (516.2)



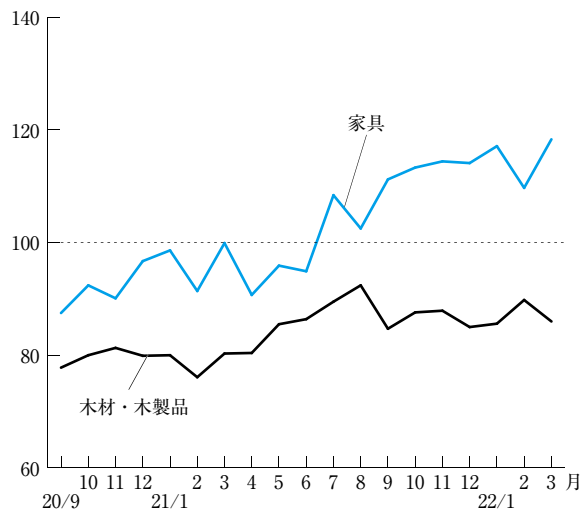
はん用・生産用・業務用機械 (558.7)  
金属製品 (309.7)



プラスチック製品 (247.0)、繊維製品 (99.3)

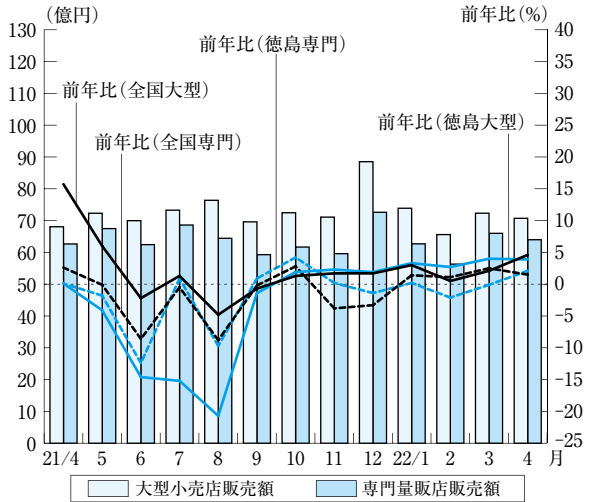


木材・木製品 (157.8)、家具 (134.9)



資料：徳島県統計データ課

大型小売店・専門量販店販売額



資料：四国経済産業局

5月の小売商況は、夏物の衣料や寝具、学校関連用品、旅行連用品など幅広い品目で前年を上回った。また、行動制限のないゴールデンウィークにより帰省客が多くみられ、総菜などの食料品や土産物、フードコートなどの動きも堅調であった。中旬以降は勢いが鈍化したものの、大型店を中心に売上げ、入店客数とも前年を大幅に上回り、持ち直し傾向が続いている。

品目別の内訳をみると、衣料品は夏物衣料や肌着などが動き、売上げは前年を上回った。身の回り品・雑貨は、ランドセルやスクール水着などの学校関連品の動きが活発だったほか、バッグや靴といった旅行関連用品、夏物の寝具、ブランド物のバッグや財布などにも動きがみられ、売上げは前年を上回った。家電は、気温低下によりクーラー等の売上が伸びず、全体として

売上げは前年を下回った。食料品は、生鮮食品や加工食品、総菜など全体として堅調で、売上げは前年を上回った。一方で、原油や穀物などの原材料価格の高騰を受けて仕入れ値も上昇傾向にあり、販売単価にも影響が出はじめている。今後、消費意欲の低下などが懸念される。

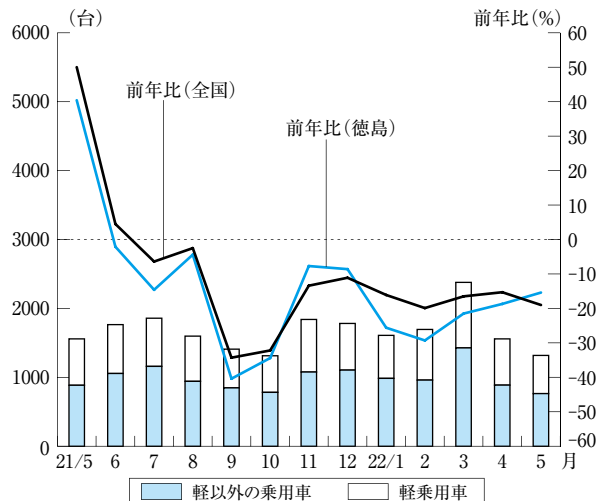
なお6月については、全体の売上は前年並みで推移しているものの、売上げ、入店客数とも盛り上がりや欠いており、持ち直し傾向に足踏み感がみられる。

旅 行 業

5月の旅行需要は、国内旅行は新規感染者数の増加が抑えられていることから、ゴールデンウィーク期間中をはじめとする旅行を手配する動きがみられ、取扱高は前年を上回って推移した。海外旅行は各国における入国制限の撤廃などから、業務による渡航相談などがみられたものの予約はほとんどなく、国内・海外旅行を合わせた個人旅行全体の取扱高は例年を下回る状況が続いた。

6月以降については、国内旅行は引き続き新規感染者数の増加が抑えられていることから、旅行を手配する動きが続いている。海外旅行では、政府による水際対策の緩和などから、一部で業務による渡航のための予約がみられはじめている。

自動車販売

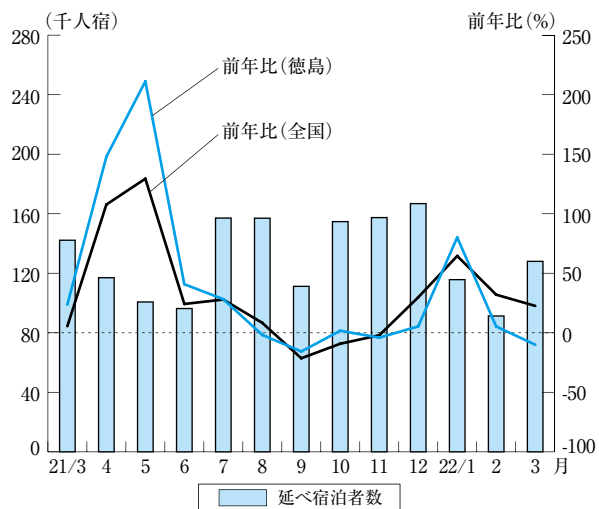


資料：自動車販売店協会・軽自動車協会

5月の自動車販売は、登録台数(含む軽)は前年比15.4%減の1,318台となった。

内訳をみると、普通車(3ナンバー)は443台で前年比15.8%減、中小型車・大衆車は321台で同10.6%減となり、登録車合計は764台で同13.7%減となった。また、軽自動車は554台で同17.7%減であった。

### ホテル・旅館

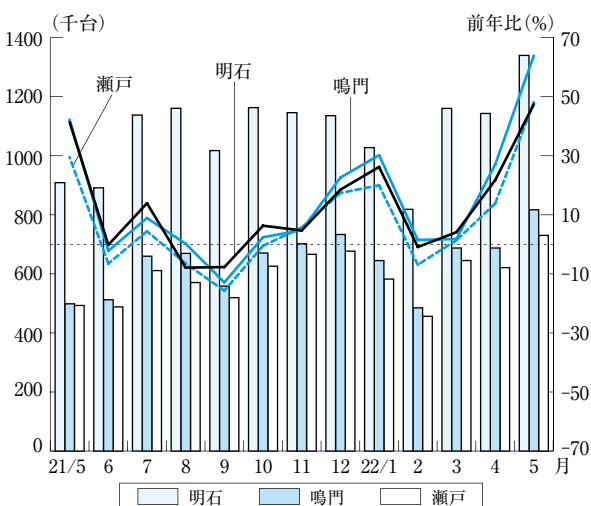


資料：国土交通省「宿泊旅行統計」(全宿泊施設)

5月の徳島市内の主要ホテル・旅館業をみると、宿泊部門は新規感染者数の増加が抑えられていることやゴールデンウィークがあったことから、ビジネス目的に加えて観光目的での利用がみられた。宴会・飲食部門は、飲食を伴う会合や接待等が引き続き手控えられているものの、少人数による食事や慶事・法要等の需要などが増えつつある。

6月についても引き続き感染者の増加が抑えられていることから、ビジネス、観光ともに宿泊を予約する動きがみられている。(宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、3月の徳島県の延べ宿泊者数(第2次速報)は128千人泊で、前年比10.0%減(全国平均は同22.6%増)となった)

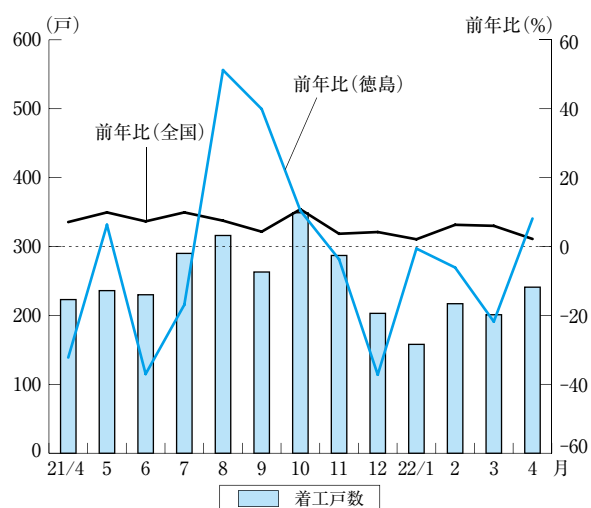
### 本州四国連絡道路交通量



資料：本州四国連絡高速道路

5月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比47.4%増、大鳴門橋は同63.9%増、瀬戸大橋は同48.1%増となった。(2022年4月～2022年5月の交通量累計は、明石海峡大橋、大鳴門橋、瀬戸大橋の順に、前年比34.3%増、同44.6%増、同30.1%増)

### 住宅投資

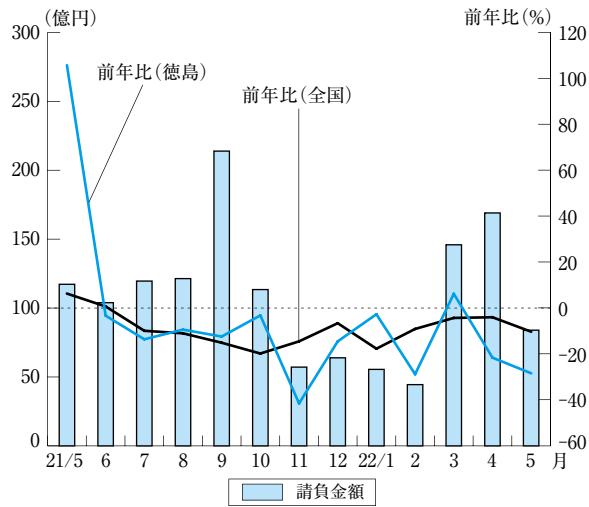


資料：国土交通省

4月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比8.1%増の241戸となった。

利用関係別では、持家は前年比3.4%増の153戸、貸家は同11.5%増の58戸、分譲は同36.4%増の30戸であった。総床面積は24,850㎡で、同7.4%増加した。

公共工事

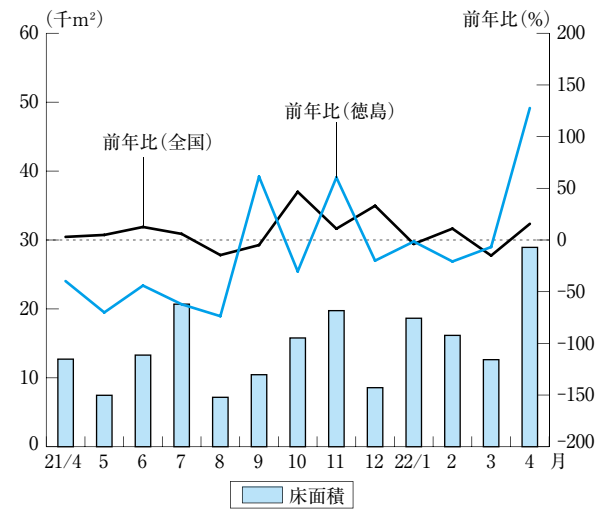


資料：西日本建設業保証(株)

5月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比1.4%減の213件、請負金額は同28.4%減の83億95百万円となった。

発注者別にみると、「市町村」は22億89百万円で同54.2%減、「国」は26億64百万円で同25.0%減、「県」は15億78百万円で前年比18.0%減、「独立行政法人等」は10億46百万円で同13.9%減となった。

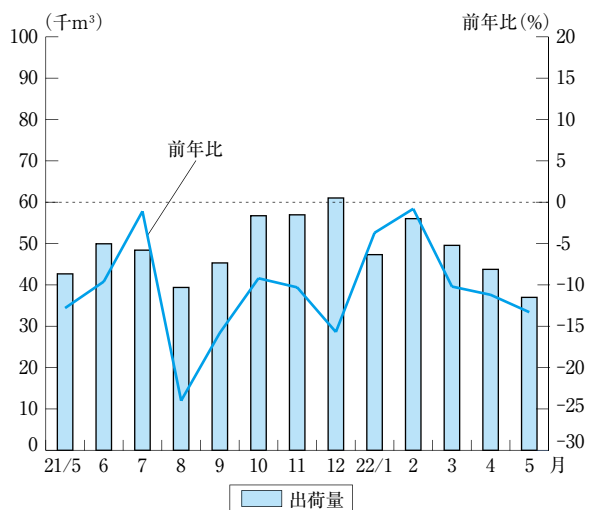
非居住用建築着工床面積



資料：国土交通省

4月の非居住用建築着工床面積（店舗、工場等）は、前年比127.6%増の28,930㎡で、工事費予定額は同117.6%増の87億82百万円となった。

生コン出荷量



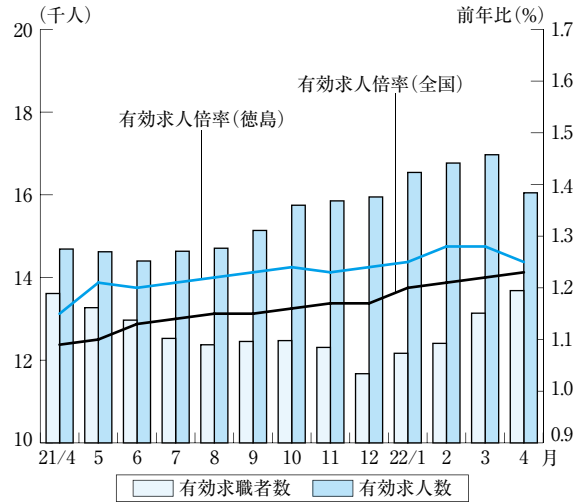
資料：徳島県生コンクリート工業組合

5月の生コン出荷量（徳島県生コンクリート工業組合出荷速報）は37千立方メートル、前年比13.3%減となった。

民需は11千立方メートルで前年比18.9%減、官公需は26千立方メートルで同10.6%減となった。



雇用関連 (求人)



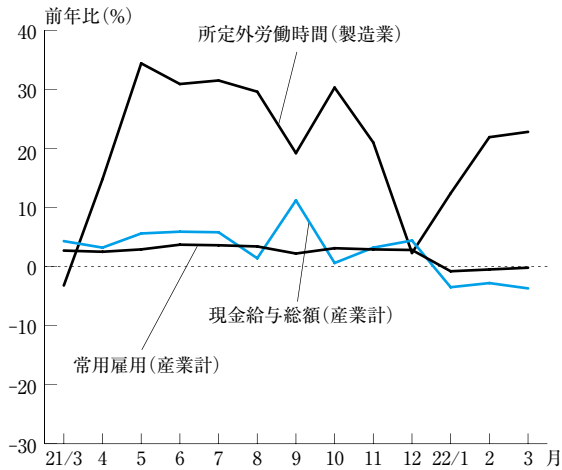
資料：徳島労働局

4月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.25倍で前月比0.03ポイント低下。原数値は、1.17倍で前年比0.09ポイント上昇。有効求人数は16,048人で前年比9.3%増加、有効求職者数は13,683人で同0.5%増加した。

新規求人数(一般。パートを除く)は3,373人で前年比9.7%増加、パートの新規求人は2,252人で同5.4%増加した。内訳をみると、農・林・漁業、医療・福祉、サービス業、製造業などで増加し、公務・その他、情報通信業、卸売業・小売業などで減少した。

なお、4月の雇用保険受給者実人員数は前年比22.5%減少(10か月連続)となった。

雇用関連 (勤労統計)

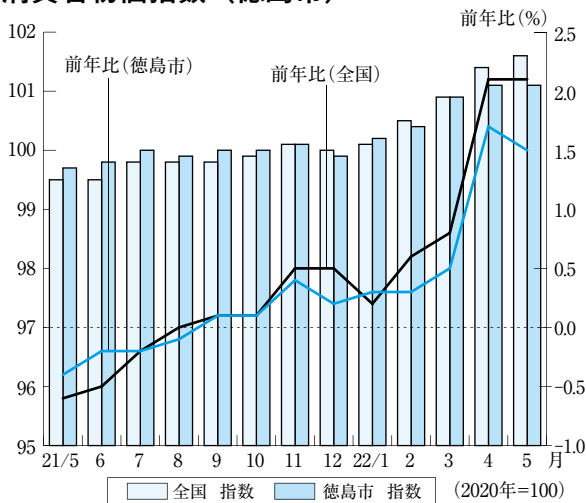


資料：徳島県統計データ課

3月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は100.7で前年比0.2%低下、現金給与総額指数(産業計)は86.3で同3.7%低下、所定外労働時間指数(製造業)は135.8で同22.8%上昇となった。

(指数：2020年=100)

消費者物価指数 (徳島市)



※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化

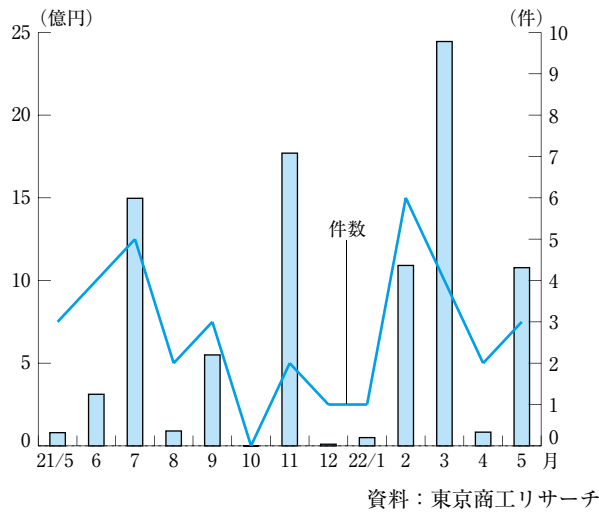
資料：総務省

5月の消費者物価指数は、101.2で前年比1.7%上昇(前月比横ばい)、生鮮食品を除く総合は101.1で同1.5%上昇(同横ばい)であった。

費目別にみると、前年比低下した費目は、保険医療(△1.5%)、被服及び履物(△0.9%)、家具・家事用品(△0.1%)となった。一方、上昇した費目は、光熱・水道(11.4%)、食料(2.6%)、教育(1.1%)などでの伸びが目立っている。

(指数：2020年=100)

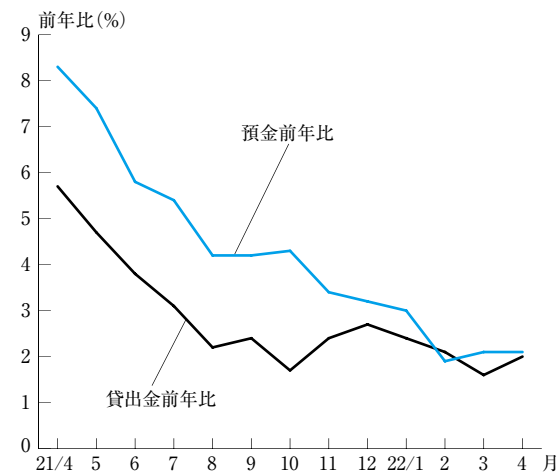
企業倒産



5月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、3件で負債総額は10億78百万円であった。業種別では、建設業、製造業、サービス業他が各1件であった。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、3件で負債総額は9億85百万円であった。

金融



4月の民間金融機関貸出金残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比2.0%増となり、82ヵ月連続で前年を上回った。この間、貸出約定平均金利は、前月比低下した（3月末1.105%→4月末1.099%、国内銀行ベース）。

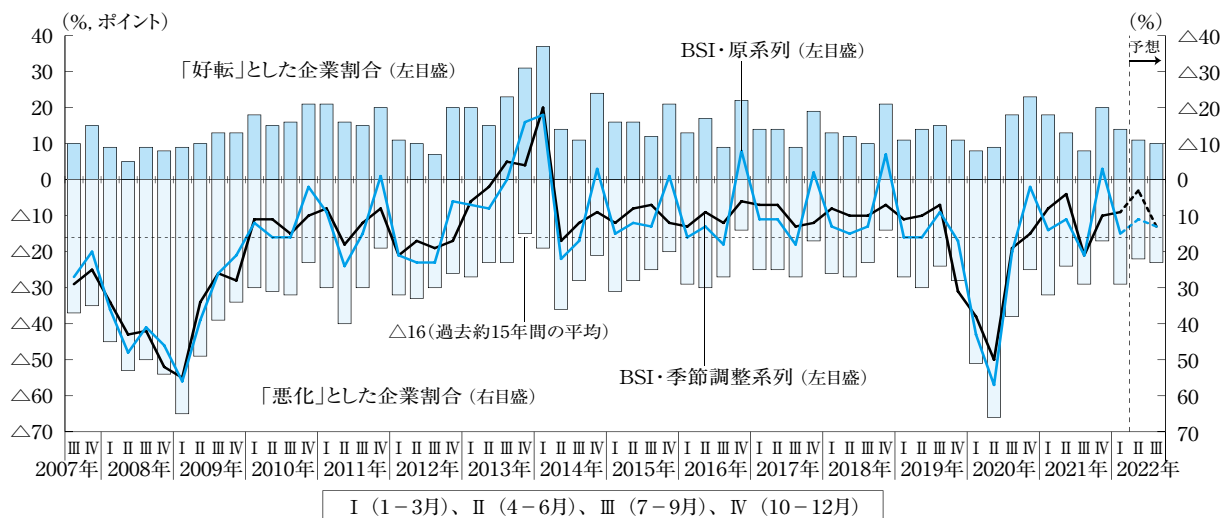
預金については、前年比2.1%増となり、37ヵ月連続で前年を上回った。

※預金、貸出金の対前年増減率について、2021年4月以降は国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額をもとに算出しており、2021年3月以前とは連続しない。

資料：日本銀行

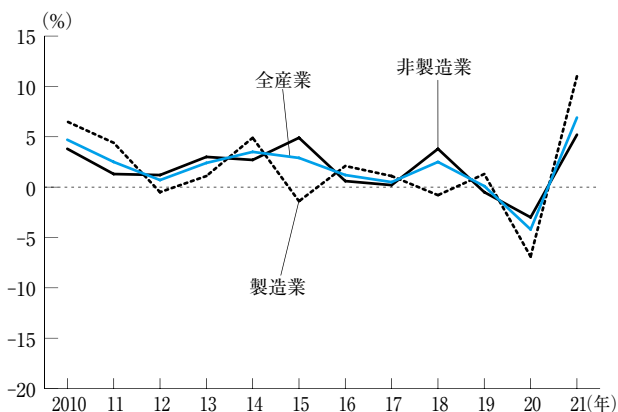


業況判断BSI (徳島経済研究所調査)



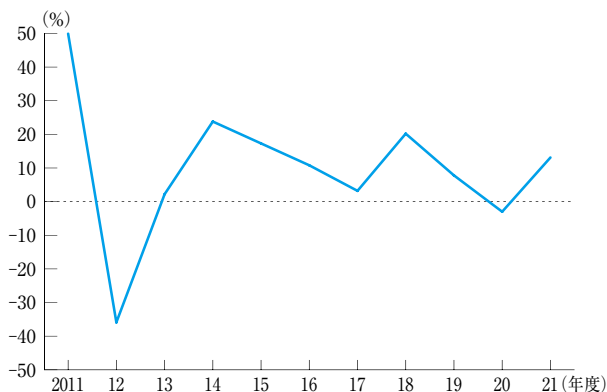
2022年1～3月期(前期→当期：△10→△9)はほぼ横ばいであった。なお、前回調査時の予想(△3)と比べると悪化した。業種別では、非製造業(同：△10→△9)がほぼ横ばいの一方、製造業(同：△9→△14)は悪化した。先行きの業況判断BSIは4～6月期予想は△3と改善するも、続く7～9月期予想は△13と悪化に転じる見通し。(詳細は2022年4月の「第149回企業経営動向調査」参照)

ボーナス支給動向 (同)



県内民間企業の2021年冬季ボーナス支給に関するアンケート調査によれば、平均ボーナス支給額は411,000円で、前年同期の384,600円に比べ支給額+26,400円、増減率+6.9% (前年同調査△16,900円、△4.2%)と、2年ぶりに増加に転じた。業種別にみると、製造業は+11.0%、非製造業は+5.3%とそれぞれ増加した。(詳細は2022年1月の「経済トピックス No.137」参照)

採用動向 (同)



県内民間企業の採用動向に関するアンケート調査によると、回答企業が2022年春に計画している新卒者採用人数は561人で、2021年春の同採用実績496人に比べ、65人の増加となる見込み。2022年春の新卒者採用計画と2021年春の採用実績とを比較した増減率は+13.1%となり、2年ぶりにプラスに転じた。(詳細は2022年1月の「経済トピックス No.137」参照)

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数 2015年=100													
	鉱工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	10,000	%	wt.309.7	%	wt.558.7	%	wt.2888.8	%	wt.3681.0	%	wt.247.0	%	wt.516.2	%
2017年	98.4	0.6	88.4	△15.9	96.7	8.8	94.4	△2.1	101.9	5.1	121.0	8.7	94.3	△1.5
2018年	102.0	3.7	100.7	13.9	101.8	5.3	88.8	△5.9	111.2	9.1	151.9	25.5	97.1	3.0
2019年	101.3	△0.7	104.9	4.2	112.8	10.8	89.1	0.3	109.7	△1.3	132.5	△12.8	94.0	△3.2
2020年	95.1	△6.1	82.5	△21.4	90.2	△20.0	83.5	△6.3	110.5	0.7	107.1	△19.2	76.0	△19.1
2021年														
2021. 2	91.0	△7.6	62.7	△21.3	72.2	△23.1	90.4	△3.5	94.8	△10.3	139.3	37.4	77.8	△9.2
3	99.1	△0.8	111.4	55.0	85.4	16.2	94.2	4.8	117.5	△5.5	113.6	△0.5	80.7	△0.2
4	103.3	1.4	58.9	△29.1	74.8	△6.9	98.5	7.6	126.0	△0.3	121.4	△3.0	80.5	0.2
5	109.3	28.8	59.4	△35.6	111.2	62.5	100.7	28.8	140.4	33.6	122.3	29.0	75.2	24.0
6	98.5	13.2	59.1	△8.4	110.8	115.6	98.4	46.1	103.4	△5.8	124.9	11.3	71.5	10.3
7	99.0	8.5	68.4	△3.7	120.6	81.4	94.6	17.5	107.6	△0.6	104.6	3.5	88.1	10.9
8	105.1	13.1	73.8	7.7	111.1	82.8	100.4	27.6	119.9	2.9	114.7	29.1	69.2	8.4
9	103.2	8.4	87.3	16.0	95.4	△12.9	90.5	10.5	124.2	10.2	127.2	37.0	81.1	11.2
10	104.8	14.0	83.0	44.4	91.8	28.1	90.9	3.2	128.4	28.9	100.0	△0.7	80.0	△4.0
11	103.9	1.4	66.8	△11.2	117.7	△38.8	89.2	6.4	121.7	8.3	115.4	2.2	80.7	6.0
12	100.0	1.3	67.0	△50.0	78.6	△6.4	86.2	0.2	118.2	7.5	104.8	△14.1	73.5	△4.0
2022. 1	104.6	△1.1	60.5	3.9	107.8	5.8	95.1	△2.6	112.7	△6.7	110.4	△19.1	81.2	5.6
2	102.7	12.8	57.3	△8.5	142.5	97.3	95.8	5.9	107.6	13.5	106.0	△23.9	83.1	6.8
3	96.0	△3.2	138.9	24.7	62.3	△27.0	90.9	△3.5	112.3	△4.4	100.9	△11.1	83.5	3.5
4														
5														

資料出所 徳島県統計データ課

(注) 鉱工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数						百貨店・スーパー販売額		専門量販店			コンビニエンスストア
	繊維		食料品・飲料・飼料		木材・木製品		販売額		家電大型	ドラッグストア	ホームセンター	販売額
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	wt.99.3	%	wt.703.4	%	wt.157.8	%	百万円	%	%	%	%	%
2017年	96.6	△5.3	101.6	△2.1	105.7	1.8	78,147	4.6	△2.5	3.9	△0.6	—
2018年	86.5	△10.5	105.0	3.3	98.2	△7.1	81,139	3.8	△0.8	4.3	4.2	
2019年	87.6	1.3	104.9	△0.1	96.0	△2.2	82,076	1.2	0.7	6.4	△0.5	
2020年	71.3	△18.6	98.7	△5.9	81.8	△14.8	91,660	△0.7	7.5	6.8	11.8	
2021年							86,659	△7.5	1.9	△0.7	△1.7	
2021. 2	63.3	△25.1	100.0	△3.7	76.1	△13.7	6,388	△13.6	22.0	△9.6	4.7	△5.6
3	67.5	△12.3	98.3	△11.9	80.3	△2.8	6,954	△9.7	24.0	△1.6	3.2	2.4
4	63.4	△19.3	108.8	14.7	80.4	△1.9	6,806	0.1	10.7	△5.2	2.6	5.5
5	75.8	4.7	112.5	27.5	85.5	6.0	7,231	△4.1	2.7	△1.9	△6.1	4.4
6	73.6	6.3	99.1	12.4	86.4	8.1	6,997	△14.6	△24.7	△4.8	△11.4	1.1
7	74.3	7.6	98.0	0.9	89.5	11.0	7,327	△15.2	0.4	1.4	0.5	5.0
8	72.9	15.4	90.5	△5.3	92.4	23.8	7,638	△20.7	△16.7	△3.0	△15.6	△2.2
9	78.2	31.5	100.6	△0.2	84.7	8.9	6,960	△1.4	1.2	2.4	△2.7	2.3
10	70.9	6.4	102.1	△2.8	87.6	7.3	7,246	1.9	4.2	5.5	1.6	2.3
11	71.9	10.9	99.9	△3.4	87.9	10.3	7,109	2.3	△2.0	2.0	△1.4	0.1
12	70.2	11.6	94.5	8.1	85.0	6.4	8,851	1.9	△6.3	2.7	△3.4	1.7
2022. 1	70.9	1.7	118.1	28.5	85.6	7.0	7,388	3.3	△5.4	5.0	△2.7	2.3
2	67.5	6.7	117.4	17.4	89.8	17.9	6,560	2.7	△11.7	5.0	△5.1	△1.4
3	64.4	△4.5	112.3	14.2	86.0	7.2	7,232	4.0	△9.0	6.1	△0.7	0.4
4												
5							7,071	3.9	2.4	3.9	△1.0	1.5

資料出所 徳島県統計データ課 四国経済産業局

(注) 「百貨店・スーパー販売額」の対前年比増減率は、2020年3月から、調査先の見直しに伴いギャップを調整するリンク係数で処理した数値で算出。

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工				公共工事保証請負			
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m <sup>2</sup>	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	m <sup>2</sup>	件	百万円	%
2017年	16,292	5.2	10,492	3.9	4,859	7.8	△ 1.8	15.9	427,925	3,551	121,862	△ 3.5
2018年	15,982	△ 1.9	10,914	4.0	4,335	△ 10.8	△ 3.9	△ 17.8	393,645	3,880	115,008	△ 5.6
2019年	16,083	0.6	11,230	2.9	4,122	△ 4.9	5.4	△ 13.8	373,621	3,943	133,076	15.7
2020年	13,990	△ 13.0	9,996	△ 11.0	3,554	△ 13.8	△ 9.8	△ 37.2	350,420	4,171	148,069	11.3
2021年	13,223	△ 5.5	9,406	△ 5.9	3,044	△ 14.4	△ 1.1	△ 24.4	310,436	3,706	137,201	△ 7.3
2021. 2	1,318	2.0	1,078	1.2	231	△ 27.4	△ 21.6	46.2	23,351	201	6,242	△ 3.4
3	1,732	△ 4.0	1,299	△ 0.1	257	△ 33.6	△ 6.9	△ 32.5	25,246	355	13,743	49.2
4	1,067	25.7	849	39.4	223	△ 32.2	△ 19.1	△ 54.0	23,144	518	21,565	△ 14.9
5	885	20.4	673	79.5	236	6.3	42.4	△ 58.0	25,091	216	11,725	105.7
6	1,056	3.0	709	△ 8.8	230	△ 37.0	△ 22.0	△ 20.0	25,010	319	10,390	△ 3.3
7	1,159	△ 6.7	699	△ 25.2	290	△ 16.9	△ 3.4	△ 42.3	28,707	336	11,958	△ 13.6
8	942	△ 0.6	656	△ 9.3	316	51.2	24.5	115.0	30,509	391	12,137	△ 9.4
9	847	△ 37.9	562	△ 43.8	263	39.9	9.2	363.2	25,781	486	21,389	△ 12.4
10	782	△ 33.4	531	△ 35.8	349	10.8	19.3	3.1	34,055	402	11,342	△ 3.2
11	1,077	△ 8.8	763	△ 6.0	287	△ 3.7	△ 11.4	9.2	28,375	259	5,715	△ 41.5
12	1,105	△ 6.5	677	△ 11.8	203	△ 37.2	△ 14.7	△ 73.5	22,944	233	6,390	△ 14.5
2022. 1	985	△ 21.4	624	△ 31.4	158	△ 0.6	△ 10.9	300.0	17,391	140	5,550	△ 2.7
2	960	△ 27.2	735	△ 31.8	217	△ 6.1	△ 15.2	36.8	20,116	164	4,445	△ 28.8
3	1,427	△ 17.6	951	△ 26.8	201	△ 21.8	△ 3.4	△ 69.6	22,070	242	14,590	6.2
4	887	△ 16.9	671	△ 21.0	241	8.1	3.4	11.5	24,850	405	16,901	△ 21.6
5	764	△ 13.7	554	△ 17.7						213	8,395	△ 28.4
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省				西日本建設保証(株)			

(注) 公共工事保証請負金額は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		雇用市場						常用雇用指数 (産業計)	
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		2020年 =100	前年比 %
					人	前年比 %	人	前年比 %	倍	ポイント		
	2020年=100	%	円	%	人	%	人	%	倍	ポイント	=100	%
2017年	98.7	0.5	296,288	△ 6.8	11,819	△ 1.8	16,634	2.3	1.41	0.06	97.6	△ 0.2
2018年	99.6	1.0	332,595	12.3	11,531	△ 2.4	17,037	2.4	1.48	0.07	99.5	1.9
2019年	100.3	0.6	324,192	△ 2.5	11,745	1.9	17,048	0.1	1.45	△ 0.03	98.1	△ 1.4
2020年	100.0	△ 0.3	309,361	△ 4.6	12,689	8.0	14,063	△ 17.5	1.11	△ 0.34	100.0	2.0
2021年	99.9	△ 0.1	346,633	12.0							102.8	2.8
2021. 2	100.1	△ 0.1	268,978	△ 4.2	12,506	7.6	14,968	△ 10.0	1.12	△ 0.23	102.0	1.7
3	100.3	0.2	451,737	47.0	13,260	7.8	15,234	△ 7.6	1.14	△ 0.19	100.9	2.7
4	99.5	△ 0.6	359,100	36.6	13,613	5.9	14,688	2.6	1.15	△ 0.03	103.0	2.5
5	99.7	△ 0.4	322,438	19.7	13,270	7.1	14,622	12.0	1.21	0.05	103.0	2.9
6	99.8	△ 0.2	290,643	△ 7.3	12,969	4.4	14,399	12.4	1.20	0.08	103.3	3.7
7	100.0	△ 0.2	334,182	△ 2.3	12,527	0.7	14,635	9.9	1.21	0.10	103.4	3.6
8	99.9	△ 0.1	297,795	2.5	12,373	△ 0.2	14,708	10.6	1.22	0.12	103.3	3.4
9	100.0	0.1	284,921	△ 0.8	12,453	△ 4.2	15,138	9.6	1.23	0.16	102.8	2.2
10	100.0	0.1	335,839	9.7	12,474	△ 6.3	15,748	10.2	1.24	0.19	102.9	3.1
11	100.1	0.4	403,002	6.5	12,309	△ 5.1	15,853	9.6	1.23	0.18	102.9	2.9
12	99.9	0.2	398,017	9.2	11,673	△ 5.4	15,948	11.0	1.24	0.21	102.8	2.8
2022. 1	100.2	0.3	298,938	△ 27.6	12,167	△ 1.8	16,541	11.6	1.25	0.16	101.4	△ 1.6
2	100.4	0.3	264,997	△ 1.5	12,407	△ 0.8	16,768	12.0	1.28	0.15	101.5	△ 0.5
3	100.9	0.5	392,709	△ 13.1	13,137	△ 0.9	16,969	11.4	1.28	0.14	100.7	△ 0.2
4	101.1	1.7	339,768	△ 5.4	13,683	0.5	16,048	9.3	1.25	0.09		
5	101.1	1.5										
資料出所	総務省				徳島労働局職業安定課						徳島県統計データ課	

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

(注) 常用雇用は、5人以上の事業所。

摘要 年月	所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量		金融関連		
	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	千人泊	前年比 %	大鳴門橋 千台	前年比 %	実質預金	貸出金	貸出約定 平均金利
									前年比 %	前年比 %	年利%
2017年	143.9	6.6	99.4	△ 1.3	2,298.2	△ 3.6	9,119	0.7	3.1	4.2	1.368
2018年	140.5	△ 2.4	100.6	1.2	2,224.0	△ 3.2	9,173	0.6	△ 0.2	3.4	1.278
2019年	120.1	△ 14.5	99.6	△ 1.0	2,568.6	15.5	9,482	3.4	3.1	3.4	1.202
2020年	100.0	△ 16.8	100.0	0.4	1,466.4	△ 42.9	6,775	△ 28.6	6.7	5.2	1.163
2021年	115.8	15.8	104.3	4.3	1,511.3	3.1	7,364	8.7	3.2	2.7	1.116
2021. 2	106.9	△ 2.5	86.5	3.5	86.7	△ 46.5	478	△ 29.4	7.4	5.1	1.157
3	110.6	△ 3.2	89.6	4.3	142.2	23.7	676	△ 3.7	8.6	5.9	1.150
4	121.7	14.8	89.4	3.2	117.0	147.9	542	30.8	8.3	5.7	1.145
5	122.6	34.4	88.8	5.6	100.7	211.2	499	42.2	7.4	4.7	1.140
6	113.3	30.9	131.6	5.9	96.3	40.8	512	△ 2.2	5.8	3.8	1.136
7	111.6	31.5	131.7	5.8	157.1	28.2	660	8.9	5.4	3.1	1.132
8	117.0	29.6	88.8	1.4	157.0	△ 1.8	669	0.2	4.2	2.2	1.129
9	114.3	19.2	93.5	11.2	111.2	△ 15.7	558	△ 12.9	4.2	2.4	1.128
10	118.9	30.3	85.6	0.6	154.7	1.7	671	2.4	4.3	1.7	1.125
11	127.1	21.0	88.8	3.2	157.4	△ 4.1	702	4.8	3.4	2.4	1.122
12	121.7	2.3	188.7	4.4	166.8	5.4	733	22.6	3.2	2.7	1.116
2022. 1	113.8	10.2	83.9	△ 5.0	115.7	80.1	645	30.2	3.0	2.4	1.113
2	130.3	21.9	84.1	△ 2.8	91.3	5.3	485	1.5	1.9	2.1	1.110
3	135.8	22.8	86.3	△ 3.7	128.0	△ 10.0	688	1.8	2.1	1.6	1.105
4							688	27.0	2.1	2.0	1.099
5							817	63.9			
資料出所	徳島県統計データ課				国土交通省		本州四国連絡高速道路		日本銀行		

(注) 所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。  
 (注) 延べ宿泊者数は、2019.12までは確定値、2020.1以降は第2次速報値。  
 (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。  
 (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出金残高の2021年4月以降の計数は、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額。  
 (注) 実質預金、貸出金残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。  
 (注) 貸出約定平均金利は、県内に本店を置く地域銀行および信用金庫の全店舗を対象とした貸出約定平均金利を集計したもの。  
 2020年1月の徳島大正銀行の発足に伴い、徳島県の2020年1月以降の計数は、2019年12月以前とは連続しない。

摘要 年月	手形交換状況						企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	手形交換高			不渡手形			件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	枚数	金額	前年比	枚数	金額	前年比						
	千枚	百万円	%	枚	百万円	%	件	百万円	%	件	百万円	%
2017年	307	309,479	△ 9.6	193	143	56.0	34	5,789	16.4	231	2,293	36.1
2018年	281	287,748	△ 7.0	129	120	△ 16.2	33	4,491	△ 22.4	185	1,493	△ 34.9
2019年	262	271,435	△ 5.7	256	341	183.8	43	6,402	42.6	232	1,996	33.7
2020年	228	246,065	△ 9.3	239	322	△ 5.7	50	10,953	71.1	235	2,212	10.8
2021年	203	221,360	△ 10.0	65	63	△ 80.4	27	6,214	△ 43.3	133	1,472	△ 33.5
2021. 2	16	17,357	9.2	16	17	10.3	0	0	△ 100.0	6	27	△ 84.6
3	23	24,652	△ 10.1	18	15	△ 61.1	3	682	△ 77.7	0	0	△ 100.0
4	17	19,242	△ 13.2	0	0	△ 100.0	2	623	159.6	18	190	△ 58.4
5	17	18,967	26.8	0	0	△ 100.0	3	80	△ 94.1	1	24	△ 94.6
6	17	19,142	△ 29.5	0	0	△ 100.0	4	312	△ 88.7	14	65	△ 88.7
7	14	14,035	△ 33.4	8	5	△ 73.6	5	1,497	251.4	9	86	△ 23.2
8	20	23,267	16.3	4	3	△ 84.5	2	90	△ 50.0	20	339	181.2
9	16	17,817	△ 9.2	2	1	△ 90.1	3	550	40.7	10	128	301.0
10	13	12,445	△ 9.0	3	2	△ 68.9	0	0	△ 100.0	22	291	131.2
11	19	22,354	△ 2.1	1	0	△ 99.8	2	1,770	96.7	13	70	△ 72.2
12	15	14,597	△ 0.3	0	0	△ 100.0	1	10	—	11	194	223.2
2022. 1	18	21,585	23.4	0	0	△ 100.0	1	50	△ 91.7	4	10	350.3
2	15	17,001	△ 2.1	0	0	△ 100.0	6	1,091	—	6	42	54.1
3	17	20,354	△ 17.4	2	1	△ 96.0	4	2,445	258.5	5	32	—
4	12	15,537	△ 19.3	4	1	—	2	83	△ 86.7	14	83	△ 56.4
5	18	24,053	26.8	16	24	—	3	1,078	1,247.0			
資料出所	徳島県銀行協会						東京商工リサーチ			徳島県信用保証協会		

注) 保証協会代位弁済は年度。